

令和2年度大阪府立泉大津高等学校学校運営協議会（第1回） 議事録

日 時：令和2年7月30日（木）14:00～15:30

場 所：大阪府立泉大津高等学校 応接室

出席者：湯峯委員、浦西委員、安岡委員、植野委員

山田校長、下澤事務長、林首席、森岡首席、中村教頭

議題

- ① 今年度の学校経営計画について
- ② 今年度の取組みについて
  - ・オンライン授業進捗
  - ・生徒の支援
  - ・令和3年度使用教科書採択について

質疑応答・意見交換

Q. オンライン授業にむけて、授業研究チームの取組みや進捗状況はどうか。（会長）

A. 授業をする側として、教材を作るところからのスタートである。教員自身の研修も必要であるが、受け手側（生徒）の通信機器や通信環境の整備も、現状では不十分である。

Google classroomなどを活用して教材を配信する準備を進めているが、どのように課題を回収して学習効果を測るかといった課題はこれからである。最終ゴールは双方向の授業が、オンラインでできることであるが、多くの課題がある。

A. コロナ禍で大変ではあるが、これまでの授業の問題点が見えてきたのではないかと。授業そのものを変えていく必要がある。主体的な学びが進むチャンスである。このことをしっかり進めていくことで、学校の評価が変わるチャンスである。（会長）

Q. 学校行事などスケジュールの変更が多々あると思うが、それらを検討するのはどこでどのようなタイミングで行っているのか。（副会長）

A. その都度、担当部署と管理職、あるいは首席・事務長が参加する企画会議、運営委員会などで検討している。

A. 中止するのは簡単であるが、実施の方向で最後までこだわって進めている。入学式は分

散であったが実施してよかった。保護者の方も感謝されていた。

Q. この状況で、生徒の様子はどうか。教室に全員入るとかなり密だと思うが。

A. 1年生は授業の初めにマスクをしていないのはクラスに一人ぐらい。その生徒も声をかけるとすぐにつけるといった感じ。マスクをすることが日常となっている。

A. 休み時間はもっと密になっている。しかし、叱って強制することではない。粘り強く声をかけていきたい。

Q. 分掌の統廃合はどのように考えておられますか。(会長)

A. 生徒減で、クラス数が減り、教員数も減ることは確実である。統廃合していかざるを得ないが、まだ手付かずである。

A. 私も以前にある学校で、分掌の統合を行った経験がある。進路と教務、生徒指導と保健をそれぞれ一つに統合し、分掌ではなく教員を2つのグループに分けて学校運営を行った。時期尚早でその時はうまくいかなかったが、泉大津高校の「トータルキャリアプラン」を柱に、キャリア意識をしっかりと持たせれば、分掌を統合してもうまくいきそうであると感じている。境目のつかない仕事が今後ますます増えていくと思うので、分掌を分ける必要がなくなるのでは。(会長)

Q. 支援教育などサポートの相談を、保護者から入学前（受験先を決める段階）に相談したいが、どこに相談すればよいかかわからない。中学と高校が連携していることを説明会でも話してもらえると安心である。

A. 地域の中高連絡協議会でも議題に上げて検討をお願いしたい。